

日本伝熱学会関西支部 第24期 定時総会・特別講演会・第25期 第1回講演討論会

主催：日本伝熱学会 関西支部

開催報告

開催日時： 平成30年4月27日(金) 13:00~17:30

開催場所： 神戸大学六甲台第二キャンパス 瀧川記念学術交流会館 大会議室

[13:00 - 13:30]

- 関西支部第24期定時総会（参加者数：38名＋委任状：26通）
- 特別講演会・第25期 第1回講演討論会（参加者数：63名）

特別講演会 [13:40 - 15:40]

1. 「生物の優れた機能から着想を得た氷成長制御」

萩原 良道 氏（京都工芸繊維大学）

低温環境下にさらされる生物がもつ生体防御物質である不凍タンパク質，およびそれに着想を得たポリペプチドに注目し，これらの物質の氷成長抑制メカニズムの解明と新しい氷成長制御技術開発を目的としたこれまでの研究成果をご紹介します。

2. 「気固反応を利用した蓄熱・熱輸送技術」

藤岡 恵子 氏（(株)ファンクショナル・フルイッド）

熱エネルギーの供給と需要の間の時間的，質的，空間的な不一致を繋げる手段として，蓄熱技術の字重要性を紹介いただくとともに，ご自身が関わってきた気固系化学蓄熱装置の中心的な技術課題である固体反応層の伝熱促進と社会実装のための基盤形成についてお話しいただきました。

第25期 第1回講演討論会 [16:00 - 17:30]

1. 「ナノ構造が液体エネルギー輸送に与える影響に関する分子動力学的研究」

芝原 正彦 氏（大阪大学）

ナノ微細構造による液体物性や界面伝熱特性を制御するための分子動力学のアプローチについて解説いただきました。特に、分子動力学解析を用いて、熱流束の構成要素を直接可視化することにより、ナノ構造の液体中や界面での寄与についてご講演いただきました。

2. 「流体温度ゆらぎによる熱疲労評価手法の検討」

三好 弘二 氏（(株)原子力安全システム研究所）

原子力プラントの安全性において重要な配管における流体温度ゆらぎに起因する熱疲労について紹介いただきました。講演では、現状における熱疲労の評価方法をはじめ、流体温度ゆらぎを計測する実験結果やシミュレーション結果について解説いただきました。

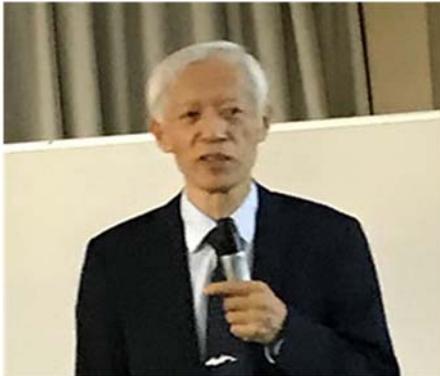
[17:40 - 19:30]

講演討論会終了後，講演者をお招きし，瀧川記念学術交流会館食堂にて活発な意見交換を行いました。

（参加者数 34名）



集合写真



萩原氏



藤岡氏



芝原氏



三好氏